

1. 6月植え「あきさかり」の収穫適期予想

2. 「おいでまい」「ヒノヒカリ」の出穂後の病害虫防除

あきさかり

収穫期は「平年より1日程度早くなる見込み」です (8月28日時点)

(表) 田植時期ごとの収穫期の予想

田植日	出穂期		収穫期(予想)	
	栽培しおり(平年)	本年産	栽培しおり(平年)	本年産
5月15日	7月30日	7月29~30日	9月3~6日	9月2~5日頃
6月1日	8月7日	8月6~7日	9月11~15日	9月10~14日頃
6月10日	8月12日	8月11~12日	9月17~21日	9月16~20日頃

- ・本年の6月10日以降に田植したあきさかりの出穂期は、平年と比べ1日程度早くなっています。
- ・**収穫期**は、出穂から8月28日までは今年の気温、それ以降は過去5年平均気温で算定したところ、上記の表のとおり、**平年に比べ1日程度早くなる**ことが見込まれます。
- ・予想した収穫期が近づいたら、実際の稲の籾の黄変率や立毛の籾水分を確認して、適期収穫に努めましょう。

「あきさかり」の収穫適期を判定する3つのポイント

① 出穂期以降の日数(1日の平均気温の積算温度)
⇒ 39~41日 (1,000~1,050℃)

② 籾の黄変率 ⇒ 85~90%

白い紙の上に広げて見る

黄変籾
この写真で籾の黄変率85%

淡緑色籾

③ 立毛の籾の水分(目安) ⇒ 25%程度(穀粒水分計で測定)

畦から2m程度入った所で、中庸な株の最長稈の穂をすごき、黄変籾と淡緑色籾に分け、籾数を数える(不稔籾は除く)。
黄変籾数 ÷ (黄変籾数 + 淡緑色籾数) × 100 = 籾の黄変率(%)

おいでまい・ヒノヒカリ

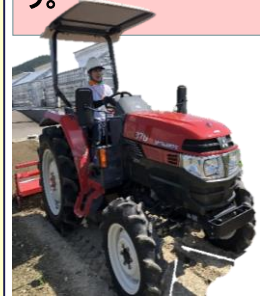
9月は、カメムシ類・ウンカ類の発生に注意！
確認防除は難しいので、出穂後に次のいずれかで必ず防除をしましょう。

対象病害虫	防除時期	使用薬剤 散布量/10a	使用期限/回数
カメムシ類・ウンカ類	出穂7~10日後	スタークル粒剤 3kg	収穫7日前まで/3回以内
	出穂7~10日後	スタークル豆つぶ 250g	
	出穂10~14日後	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍・100ℓ	



要注意！

今年は「イネカメムシ」が増加傾向にあります。特に大川地区で多く発生しています。出穂期に籾の基部を吸汁されると、不稔籾となり、減収する恐れもありますので、防除を徹底しましょう。



農作業安全確認運動 (9月~10月)

例年、イネの収穫期にあたる8月~10月は農作業事故による死傷者数が多くなっています。